



乳がん&子宮頸がんの無料クーポン配布がスタート

日本のがん検診推進事業として、平成21年度から配布が始まった「がん検診無料クーポン」。今年もお住まいの市町から対象年齢の女性に、乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポンと、がん検診手帳、検診機関一覧が送付されました。定期的な検診は、がんの早期発見・治療への第一歩です。

乳がん・子宮頸がんQ&A

**Q.乳がん、子宮頸がんはどんな病気？
かかりやすい年齢や、日本人女性の発症数は？**

A.【乳がん】

女性ホルモン(エストロゲン)の影響が大きいと考えられている乳腺のがんです。若い方の罹患も増えていますが、45~50歳の女性に最も多くみられます。女性のがんの中で一番多く、年間4万人が発症し8,000人が亡くなっています。

A.【子宮頸がん】

子宮頸部(子宮の入り口)にできるがんで、性行為によるヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされています。食生活の欧米化や性交の低年齢化により、20~30代の罹患が増加し、年間8,000人が発症し2,500人が亡くなっています。子宮頸がんは自覚症状がないことが多く、不正出血に気付いた時には、がんが進行している場合があります。

Q.検診の流れを教えてください。

A.【乳がん】

①問診、②視触診、③乳房を透明なアクリルの板で圧迫してX線撮影するマンモグラフィの流れで行います。

A.【子宮頸がん】

①問診、②視診・内診、③医師が子宮頸部の粘膜を綿棒などでこすりとり、細胞を顕微鏡で調べる細胞診の流れで行います。



Q.早期発見すれば治る病気ですか？

A.【乳がん】

早期とされるのは、しこりの大きさが2センチ以下でリンパ節に転移のない場合です。この状態で見つければ98.2%の治癒率(5年生存率)です。乳がん検診の目安を2年に1度としているのは、検診で診断できるしこりが数センチになるまでに約1年半を要するため。検診を受けない間も、しこりや乳首からの分泌物がないか、セルフチェックすることをお勧めします。

A.【子宮頸がん】

自覚症状がない初期の段階なら、92.1%の治癒率(5年生存率)です。子宮頸がんは検診が最も有効ながんです。定期検診で早期に異常を見つけることで、完治の可能性も高まります。

Q.無料クーポンで受診率は増加していますか？

A. 無料クーポン配布は受診率50%を目標にスタートした取り組みで、がん検診を受ける方は着実に増えています。しかし広島県内での受診率は、乳がん28.6%、子宮頸がん24%とまだまだ低いのが現状です。がんに関心がない方の受診を促すような新たな活動や、受診機関の利便性の向上、子宮頸がんワクチンの接種と合わせて、中学生のうちから教育を行うなど、多くの課題があると感じています。がんは自覚症状がない時に定期検診を受け、早期の段階で発見することが大切です。無料クーポンを受診のきっかけにして頂ければと思っています。

回答者

呉医療センター・中国がんセンター
院長 上池 渉 先生



●対象年齢 (平成23年4月1日時点)

子宮頸がん	20歳・25歳・30歳・35歳・40歳の方
乳がん	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の方

※居住地によって詳細が異なる場合があります。
詳しくは各市町にお問い合わせください。

●受診期間 (平成)

広島市	23.6/30~24.3/31
東広島市	23.7/1~23.12/28
廿日市市	23.6/1~24.2/29
大竹市	23.6/1~24.3/31
竹原市	23.6/1~24.2/29